

第1回高木学園説明会議事録

■平成18年1月22日(日)18時～20時

■百道浜公民館講堂

■自治連合会会員 13名＋アクアコート対策委員会10名＋地元医者 2名

高木学園6名(柁島参与、松田事務局長、上田企画部長、佐々木建築担当、

椎野企画課長、渡辺建築担当)、 港湾局4名 (傍聴者 8名)

■事業予定者(学校法人高木学園)からの挨拶及び説明

【高木学園作成の説明資料を転写】

(はじめに)

先般、公募に際し福岡市に対し事業計画の提案書として基本計画を提出しましたが、本日の説明会は、今後策定する実施計画のための方向性を現段階で地元自治会役員の皆様と、アクアコート対策委員会委員の皆様方とで確認しあう場として、またお互い初めて顔を合わせることににより今後信頼関係の構築に繋げていくことを主眼としたいと考えています。

(公募～現在の検討状況)

昨年12月7日、福岡市からの公募予定者決定通知を受けて現在までの開発事業計画に関する検討状況について簡潔に説明させていただきます。

事業予定者決定を受けた後、12月15日に自治連合会から市議会に対し、請願書が提出されたことに正直に申して驚きと、当惑を感じました。

但し、請願の内容は、建設反対或いは事業予定者の否認ではなく、高木学園が、一括して土地を取得し、高木学園が教育施設を、高邦会が病院と福祉施設を建設することが前提で、あとは景観や環境問題について住民の方々との話し合いの場を持つこと、また、医療関係者とは共存・連携できるよう専門的な協議を行うこととの趣旨であることが解り、今後行政関係機関とも十分協議し誠意をもって対応していく必要があると考えています。

公募段階の基本計画から実施計画を進めるにあたり、景観面や公開空地のデザインについて、百道浜に詳しいコンサルタントにお願いし、アドバイスいただいています。さらに、福岡市建築局、都市整備局都市景観室に港湾局も加えた事前協議を今年に入ってスタートし、今後の景観アドバイザー会議、建築審査会に繋げていく予定にしています。これらの前提として自治連合会さらに地元住民の方々への説明・ご理解は必須であり、今回の説明会を初めとして今後、適宜諸問題について会合を重ねていきたいと考えています。

それでは、設計・建築に関するこれまでの検討状況について担当責任者より説明を行います。

(図面の説明)

次に公募段階の基本計画から病院の機能に関する検討状況についてですが、まず、建物規模約38,000㎡に対し199床のベッド数についての整合性について説明します。

一般的にこの規模の建物面積に対して、199床のベッド数では、異常に少なすぎる。将来的に500床規模の大病院を建てる目算がありはしないかとの疑問があるとの意見について現段階で回答したいと思います。

今般の病院につきましては、公募提案で計画しました教育・福祉施設の実習・バックアップ機能としてのリハビリテーション部門の充実と今後ますますニーズが高まるであろう予防医学の導入を柱にアメニティ即ち快適な入院環境の充実のために個室を中心としたものにしていきたいと考えています。入院患者一人当たりの病床面積は国の基準4.3㎡、一般的には8㎡でも広いとされている病院に対し、現在検討している病院は個室面積を20㎡にして高い療養環境を求めていきたいと考えています。

さらに現在中央区長浜にある福岡国際医療福祉学院天神キャンパスに併設している大学院を移転し充実したものとするため、教授陣の研究室を病院内に20室～30室程度確保する計画もっています。これらの実現のためには、行政機関そのほかとの協議も残されており、現段階では検討課題のままです。さらに予防医学についても、人間ドックを充実するためかなりのスペースが必要となり、これらを総合的に勘案すれば現段階では199床以上ベッド数を増床する余地は無いと考えます。

したがって、地元医療機関とは、バッティングするよりむしろ連携やネットワークが構築できる特色のある病院づくりを目指し、地域水準の高い百道浜地区の医療に貢献できるものと確信しています。そのほかの診療内容につきましては、目下検討中ですが、地域の医療ニーズを調査して、地域医療の発展に繋がる先進医療の分野にも進出していきたいと思えます。

最後に地域に対する環境面の取り組みですが、各施設ごとに想定される環境面の対応について述べさせていただきます。

まず、学校施設ですが、専門学校・大学院に通学またはキャンパスで集う学生数は1,000名程度を想定しています。学生の通学については、バス・地下鉄による公共交通機関の利用を指導し、特に小学校の通学児童に対する交通安全面への特段の配慮をする考えです。

また、自転車についても、駐輪場を設置し、マナーの徹底を図っていききたいと思います。さらに、キャンパスに集う学生についても近隣住宅地への騒音・ゴミ捨てなどモラル面での指導についても周知徹底を行いたいと思えます。次に病院・福祉施設を訪れる患者、利用者などの方々についても、児童通学路の安全確保のための注意喚起を適宜呼びかけていきたいと思えます。また、近隣への不法駐車禁止についても注意を払っていききたいと思います。

当グループは、既存のほかの施設において学生や施設利用者と住民との間に大きな事故・トラブルが発生した事例は特に無く、これらの問題については、今後様々な環境問題が絡んでくることが想定されるため、住民の方々との綿密な情報交換が必要であると考えています。

本日の説明会は、冒頭申し上げました、私共事業予定者が今後、実施計画を策定していくための方向性を現段階で、地元住民代表の皆様方と共有し、信頼関係を築く礎となるための初会

合として、今後諸問題につきまして、誠意をもって、真摯に対応させていただき所存でございます。行政各機関や様々な各団体とも今後話し合いの場を持ち、信頼関係を前向きに構築していきたいと考えていますので、どうか本説明会を契機に、これからの事業計画と当グループについてのご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

■質疑応答 (●高木学園、○自治連合会会員・アクアコート対策委員会委員)

<はじめの数分間は、記録が取れていません。>

●20㎡の個室を中心に配置します。病室の広さは、百道の環境に適した医療施設であれば必要と考えています。入院して良かったと思えるようにするには、病棟にゆとりをもった療養環境の提供が必要であり、これを考えると40床で5階建てが必要です。そして、予防センターを10F、その上に健康増進センターとしてプール、ジム、レストランを作り地域に開放することで考えています。そうすると、どうしても百道浜に適した療養環境と考えると、現時点では11階建てとなります。

○病床数199床に対して規模が大きな建物だが、採算性はどのように考えているのか、20㎡の病室で本当に経営が成り立つものか教えて欲しい。

●199床で十分やっていると考えています。

○それでは質問の答えになっていない。納得できない。

●取れるような事業計画を作っており、十分採算はとれると思っています。

○199床のベッド数を、今後絶対に増床しないと考えて良いのですか。

●地域医療計画で定められているため、増床はできません。外から持ってくることも100%出来ません。(※福岡・糸島医療圏内での移転は可能です。)

○今後、10年、20年経っても増床しないと考えて良いのですか。

●考えていません。

○どのような診療科を予定されているのか教えて欲しい。

●どのような診療科が必要なのか、地元のニーズに答えて決めていきたいと考えています。

○福岡中央病院の診療科を持ってくると考えて良いのですか。

●今のところはそうですが、お答えできません。

○このような大規模医療施設への、医師の供給のあてはどのようにしているのですか。

●基本的には福岡中央病院の先生方に移転して頂きます。あとは、医者の確保に努めて行かなければならないが、現時点では分かりません。

○公募時の図面と今回では病院施設の位置が変わっており、逆転しただけにしか見えませんが、これには何か意味があるのですか。

●都市景観室の意見もあり、アクアコートの真ん中の南北の軸線を通すようにとの指導がありました。結果的に今日出したものは、位置を逆転したものです。圧迫感が無いように緑地を残してアクアコートとの距離を10Mと離しています。病棟上部も当初90Mであったが検討し78mにしています。他は配置を左右逆転し、地下駐車場の入り口を設けたことが主要な変更点です。

○かなり配慮したとの説明をされたのかもしれませんが、アクアコートとしては、11階で48Mの建物の威圧感は相当なものです。仰角も45度以上になります。

この土地は開発当初から百道浜地区中学校予定地としての位置づけされてきたものであり、アクアコートの所有者は、4階建て程度の建物が建つものとの考えで、階数や眺望等を考慮し、購入したものです。11階が変わらないとの考えであれば、この話し合いは長びくものと考えます。私たちは4階程度を基本と考えています。

●高さは48Mで考えています。隣棟間隔は50M程度で、45度の範囲では収めるようにしています。

○開発計画公募の審査結果には、付帯意見が2項目あり、建築計画では「南側の住宅地からの景観の軸線や緑道との連携を図り、建物の配置や意匠等、周辺地域への一層の配慮を行う必要がある」と指摘されています。

中公園からの景観の軸線を考慮したとの説明は、この点を考慮したと思われませんが、付帯意見で言われているのは、南側の住宅地からの景観の軸線であるので、住んでいるところからの景観の軸線をもっと配慮して欲しいとの希望があります。

病院部分の施設の場所は、商業地域でかなりの容積率の地域であり、総合設計制度を活用することで全体の容積率をあげるとのことだと思います。元々アーバンデザインが予定していたこの地域の配置としては、図書館の北側までが商業地域であるため、病院施設の11階の高さがどうしても必要であれば、こちら側に移す配慮が出来ないものか。外来部分の4階程度はアクアコートの住民も止む終えないという方が多数と思われませんが、11階は突出しているのもので、それを本来の都市計画の商業地域の部分に可能な限り移すことで実施計画を検討出来ないかと思います。

根拠としては、選定の際の付帯要件として、南側の住宅地からの景観の軸線との連携を図ることであるので、この点について再度十分に検討して頂きたい。

●病棟としてある程度のフロア面積が欲しいので、棟状にするのはなかなか厳しい現実があります。意見を承ることとしますが、ここで回答することはできません。

○199床を増やさないというのは、文書で出してくれるのか。

●持ち帰りしたいと思います。

○この間の処分委員会の席でも、きちっと確約したのだから、出して頂きたい。

○高木学園も、港湾局もそう言っているのだから、出せるでしょう。他に、リハビリ中心の病院と言っているが、具体的に地元の病院とどのように連携しようと考えているのですか。共棲し、相乗効果を上げたいと言っているが、よく分からない。

●この場で答えられるか、分かりません。

○土地処分委員会でも地元と十分共棲できると言っているでしょう。

●リハビリを含めて紹介頂いた患者さんについては、きちっとお返しをしながら。今から医療器械等も充実していきますので、そう言う点でお力になる点があれば。

○急性期の疾患については、九州医療センターや子ども病院とも連携し、もう充実している。リハビリを中心に地元医療と連携するのかどうかハッキリして欲しい。

●それについては、もっと詰めていきたいと考えます。

○処分委員会の席でも同じ質問をしましたが、リハビリ専門の病院ですかと。学生のための実習の病院であれば、リハビリテーションが充実したものと特化されるものですかと。その時もクリニックゾーンとも十分に話し合いをしていくとのことであったと思いますが、今の答えだと、また元に戻っている気がする。

●先生方との話し合いについては、専門的な協議の場で話し合いをしたいと思っている。

○急性期医療をどのくらいするのですか、今の考えを聞きたい。救急はされるのですか。

●それも今のところ、お答えするところではありません。リハビリテーションを充実したいとは考えていますが、救急医療をどれくらいするのか、3次救急をするのか、今検討しているところで、言える段階ではありません。

○処分委員会の席で、救急はされますかとの質問に、救急は今のところしないとの回答でした。違うのですか。

●救急車が多く来る救急医療は、今のところ考えていません。

●今、福岡中央病院は、救急指定にはなっていません。救急をどうするかは調査も必要で、目下検討中です。福岡中央病院をベースに考えていることからすると、救急の機能は持っていないこととなります。近くに救急医療センターがありますが、機能的には全然違うものだと思います。

○療養型のベッドは199床の中でどれだけ入るのですか。

●今の段階では、分かりません。

○個室の状況からしても、寝たきりの人が入れる病院じゃないでしょう。極めて疑問であり、ある程度療養型のベッドを作る予定があるのですね。

●今の段階では、はっきり答えられません。

○もし療養型のベッドがないとすると、地元に対して優しいと訴えている福祉施設は、せいぜい体育館の1階部分だけでしょう。そんなものは、ここ百道浜にはすでにもうたくさん存在しています。地元住民にとって何がメリットなのか、そんなものはちっともない。急性期の病院なら急性期の病院だと言ってもらえば、まだ状況が理解できる。

●それにつきましては、これから専門的な協議の場でお答えできればと思います。

○採算性の話に戻りますが、こんなにだだっ広く、高さは11階もあるのに、どういう内容の診療科も全然決まっていない状態で、採算性は取れますと言われても真実味がない。何も伝わってきません。本当はもう少し決めてあることがあるのに、言わないだけなのではないか。

●私どもの計画では採算は取れると判断しております。

●病院部分だけの採算だけではなく、天神、博多から移す専門学校の教育部分での事業採算も

十分見込めるので、病院・福祉・教育3つの施設の事業採算を総合的にみると、特に土地代56億の投資回収を含めたら、十分採算は取れると見ています。

○病院の図面を見ていると、とても大きな外来があり、一方それに対してリハビリの面積が非常に小さい。リハビリ患者や寝たきり患者を扱いますと言われても信用できません。病室についても、20㎡の個室に入られる方々、つまり大金を支払う方々が果たして学生の実習の材料になるのでしょうか。本心が見えない。高木学園としてどうしたいのかはっきり言って欲しい。まやかしの言葉はいりません。今の計画が信用ならないので、根本的に考え方を改めて頂きたい。

●疑問を持って指摘をされている内容については、私どもにも十分伝わってきますので、それはそれとして受け止めますが、市の港湾局の公募に手を挙げて決定を頂き、土地代56億を市に払わなければなりません。さらにこれだけの施設を作るとなると、事業者にとっては大きな負担となります。

しかし、私どもの事情として中央病院を移転しなければいけない、それで199床という数字がいきってくるのでして、学校の統合あるいは全国で展開してきたノウハウの中でグループとしてトータルで考えたときに、これは十分対応できるというふうに判断しました。経営に行き詰まり、経営を投げ出して撤退するという考えは毛頭ありません。そういったことではみなさんに対して手を挙げる資格もないというふうに思っています。

したがって、確かにこの話はまだ煮詰まってないと思われるかもしれないが、私どもなりにどういった診療内容があった方がよいのか、これを百道浜地区の病院と考えるのではなく、さらに広いエリアのものだと考えたときに最新医療はどうあるべきか、などの議論を内部では行っています。

この地区はアジアに開かれた地区だと理解しているので、いろんな方々がニーズとしてお持ちだろう。そういったものに総合的に答えていくことが、私たちにかせられた宿題です。固まった内容については、説明をし、理解を頂いていくつもりです。

言い訳ではありませんが、公募する時期から今まで非常に短い期間であり、十分に詰め切っていない所がありますが、コンセプトは先ほどから申し上げている通りで、嘘偽りの気持ちで手を挙げたのではないということをご理解頂きたいと思います。

○今の話で、アジアに開かれたという視点で言われましたが、アジアから高額所得者をここに呼びぼうと言う考えなのですか。

●そう言うことで考えている訳じゃなくて、医療圏を考えても、福岡地区とか西部地区とかでなくて、もっと広がって行くだろうと。患者さんの医療に対する知識も進化していきますから、これに総合的に答える医療機関になっていけばというのが根本にあるわけで、その結果、外国の方も評判を聞いて、駆けつけて頂く方もいらっしゃるでしょう。その時に開かれた病院にしなければならないと言うのが基本的な考え方です。

○今日は医療関係の方が来られていないので、詳しいことは答えてもらえないでしょうが、20年

前には230床の病院、それがこの20年間に急成長して全国的に展開されています。医療関係・福祉関係の学生の実習に病院が必要だとのことですが、医療は学生を育てるだけのものではなく、やはり患者さんあってのものです。各地域で大きな病院を展開されていますが、ニーズがあってきて、地元の医師会に受け入れられて、うまくやっておられるのでしょうか。病院を増床される理念とは、どのようなものを持っておられるのでしょうか。

●各地区の病院、福岡地区の病院においても、地元の中核医療機関として各病院ともうまくいっていると思います。

○色々な所で地元医療機関から反対されて、開設していると聞いています。

●そこのところは私どもの認識とは違います。

○ここは自治連合会の場ですね。病院、アクアコート、それ以外の方が多く住んでいますが、ほとんどの住民の方は、ここには出てきていません。他の方の意見をもっと聞いて頂きたいと思いません。

環境問題とか言われていますが、ここ10数年の間で地域のゴミ拾いに出てきた方が今日の参加者に何人いますか。こちらからのお願いですが、学生さんが年に1、2回の町内清掃に出てきて頂ければ地域に受け入れられると思います。

○急患センターの裏にいますが、夜間に学生が多く出入りします。ここは住宅街だから夜間のバイクの空ふかしは問題だと、また、10～20mは押して行きエンジンをかけるなど、学校や学生の代表にも働きかけをしているので、気を遣ってくれます。開校したら、連合会と話し合いの場をもって欲しいと思います。

●隣近所のつきあいがベースになるので前向きに考えていきたいと思いません。

○9月着工になっていますが、通常これだけの大きなプロジェクトですから、これからの話し合いの状況では、着工予定を先に延ばす考えがあるのか、話し合いの期間があるのか予定のスケジュールをお聞きしたい。

●景観については福岡市の都市景観室をとおして景観アドバイザー会議に諮っていかないといけない。これと平行して福岡市の建築指導課の建築審査会が3回程度あります。これは月に1回しか開かれないのですが、今、これらと景観面、容積の問題を協議している。これがある程度具体化しないと次のステップの建築確認であるとか、地質の調査とかあり、9月着工は我々のあくまでも目標の部分でありまして、今からどれくらい総合設計などの協議に時間がかかるか分からないので、ご理解頂きたいと思いません。

その協議の機会ごとに、今後住民の方、自治連合会、アクアコートの関係者の方には適宜話し合いの場を持ちたいと考えています。また、計画が大幅に変わる度に皆さんに説明の機会を持つべきだと考えています。

○今の関係者との協議について、どこを対象に、何回程度、若しくはどれくらいの期間をかけて

協議をする予定かをお聞きしたい。住環境だけで言えばアクアコートが一番影響を受けるし、病院が出来る点では、医療機関が影響を受ける事になりますが、約1,000名の学生がそれも夜間にも来るとなると、交通量、騒音などの影響はかなり広範囲にでると思われま。病院も患者さんやお見舞いの車で渋滞が起きれば、おそらくドームの近くまで相当影響がでると思います。今でも図書館に出入りする車で、アクアコート横の道では渋滞が出ており、学生、患者、お見舞いの方の車でかなり広範囲で影響があると思われま。

これを踏まえて、現段階で、どの範囲の方と協議をする予定か教えて頂きたい。

●今日、始めて皆さんと正式にお会いしているので、どう進めるのかイメージが浮かびません。誠心誠意やっていくことは申し上げたとおりです。それが回数でどれくらいになるのか、たとえば景観の問題は景観の問題、地元の病院とはどういう形で話し合いが出来るか、アクアコートはアクアコートとどうやるか、今すぐどうやるかは難しいので、連合会の会長と話をさせて貰いたいと考えています。

○これからの景観アドバイザー会議や建築審査会の手続きの中で、どの段階で、どのような事を解決するために話し合いを持つのか、話し合いの内容とスケジュールを次回までに示して頂きたい。先ほどの診療科についても地元のニーズを把握してこれから決めるとの事でしたが、これらの手続きの中でいつ頃の時期までに決められる予定か、地域に関わりあることの協議のスケジュールを示して頂きたい。

●学生は1000名いますが、夜間は理学療法学科と作業療法学科ですので、1000名ではありません。

○夜間は320人でしょ。そんなことはみんな分かっている。

●診療科は、医者の問題があるので、いつまでかといわれても答えられません。

○私だけが皆さんとは反対の意見ですが、今、駐車場は600台から800台ありますが、それが無くなれば渋滞はなくなるでしょう。イベント等があったら、駐車場のキャパ以上の車が来ますが、駐車場がなくなり、学生は公共交通機関を利用して頂けたら、渋滞はなくなります。

○沢山の病院を経営されておられるので色々なノウハウもお有りでしょうし、今回も採算性が取れるということですから、もう青写真は出来ていると思う。たとえば標榜科を何にして、一日何人の外来患者さんを予想しているのか。その当たりをもう少し出して頂いた方が話し合いもスムーズに行くのではないかと思います。一日に何人の外来人数を予想されているのですか。

●ここでは分かりません。

○11階建てであり、圧迫感がどうしてもある。横幅は少し狭くなったようですが、11階に固執されていると思えてならない。上の2層はアメニティの部分であり、そのためにアクアコートが圧迫感を強いられるのは納得できない。11階に固執する、その理由は何か教えて欲しい。

●確かに、上層は予防医学やトレーニング室・レストランを計画しています。基盤部分の上に病棟をのせるのは一般的な作りであり、中間部に手術室を挟み、アメニティの追求となると上の方がい

いだろうという判断は確かにあります。斜線の制限もあるので、その辺も総合的に考えて11階建てと考えています。

(※「斜線制限もあるので・・・」はこれ以上高く出来ないとの意味でしょうか。11階が必要な理由にはなりません。)

○昨年の港湾局の説明会で、地元詳しい設計事務所との話だったのですが、地域の意見を反映してくれると期待しています。委託を受けた設計事務所はどうしても弱い立場になると思う。本当に我々の意見を取り入れてやってくれるのか不安であり、今回、委託されたのは〇〇設計事務所とのことですが、何故、そこを選ばれたのか教えていただきたい。

●昭和60年頃に、シーサイドももちのアーバンマニュアルの作成を福岡市から委託された所です。私たちが始めて百道の街で事業をやるということで、百道に一番詳しいところをお願いするのがベストだとの考えで、〇〇設計事務所に決めたところでした。

〇〇〇設計事務所は私も知っているが、今日出された案が、あの所長が納得されたものとは到底思えません。百道の街に詳しいあの所長の指導がまだまだ出来ていないと感じています。やはり、事業者側の強い意志なり意向が優先している案だと受け止めています。

●そこの所は、今検討をお願いしている最中ですので、また、色々な所で調整があると思っています。

○駐車場が200台とのことでしたが、百道浜小学校の朝の登校の時間と病院の始まりがほとんど同じ時間となります。ここは子どもたちが通る通学路になっているけれど、何か対策を考えているのかお聞きしたい。通り抜け道をつくるために病院を移動したとのことでしたが、アクアコートから繋がって抜ける道が出来ると学生さんたちや病院に来た一般の方たちが、沢山通り抜けることは、環境面でも色々な問題が起こってくるのでは無いかと思っていますが、どうしてお考えかお聞きしたい。

●小学校の通学路とこの敷地の駐車場に入る動線がぶつかる点ですが、配置も検討中であり、具体的にどうするかという案は考えていないところでした。今後、ご意見を伺いながら展開して行きたいと思っています。一方で、アクアコートの中公園からの軸線は、通すのが良いのか、通さないのが良いのか判断が分かれるところではありますが、都市景観室や関係課からは通すようにと、指導を受けたところでした。治安の点などでの意見もあったことを関係機関にも伝え、意見は意見としてちゃんと聞いて、話し合いをさせて頂きたいと思っています。

○先ほど出た階数のことも考えて、企業側の方へ持って行くのが一番良いかと思っています。

●それで収まるかどうかは、今は全然自信はありません。私たちがやりたいことがありますので、現在こういう計画をしています。そこの所は、これから話し合いをさせて頂ければと思います。そういう意見があることを、今日はきちんとお聞きしました。

○予定患者数を先ほど聞かれた方がありましたが、病院経営に関心があるだけでなく、アクアコートの住民として、ここは何人の人が出入りするのかが想像がつかない。住環境への影響も変わってきますので、予定患者数であるとか、どの時間帯にどの程度の人が出入りするのかが、どの程度交通への影響があるのか、予想される数字を出して頂ければ、話し合いの場で色々な意見が

出せるのですが、今のままでは、とてつもない数の人が出入りして、不安だけが募ることになります。ある程度データを出して頂かないと当初言われていた信頼関係も築けないと思いますので、ご配慮をお願いします。

○今日は、信頼関係を築くと言うことであつたが、元々この土地は福岡市の財産であり、対象用途として、教育・福祉施設又はこれらの機能を支援する施設の範囲で複合することが出来るという原則がありますので、私たちの期待を裏切らないような計画を立てて頂きたい。それは病院の大きさや機能にも大きく関係してくるものと考えます。

今後の私たちとの折衝においても、信頼関係を築く姿勢を示して頂く事が一番大事だと思えます。今後の皆様の説明を期待しています。

○先ほどの人の流れについての付け加えとお願いですが、配置をどのように変えられても、約700名の生徒の8割方は、この敷地に沿ったルートを歩いて登下校します。色々な方々で交通指導も行われていますが、大きな事件にはなっていませんが、色々な危険な事が学校からも報告されています。色々な人の流れなどの調査をしっかりとお願いします。

○地域それぞれの意見を吸い上げると、こんな医療を入れて欲しい、こんなのが欲しいと、反対に20階、30階の建物が出来上がるということもあるのではないのでしょうか。この場だけではなく、地域全体の話聞いてほしい。

○この場がその地域全体の意見を言う場であり、一番重きをおかれるべき場でしょう。

○ 今後の協議の場の持ち方は、自治連合会、アクアコート対策委員会、地域の医療関係、高木学園、港湾局を入れて検討していきたい。その協議の場が出た意見は議事録にまとめ、それを公表し、地元のみなさんへ伝えていきたい。

○今日は事業予定者からの説明でしたが、これからは港湾局へも、なぜ一者しか応募できないような公募要件であつたのか、公募要件が適切であつたのか、なぜ病院の内容に不明な点が多いにもかかわらず決定したか、などの港湾局の手続きの疑問点についても、別の形で回答を求めていきたいと考えています。

<終了>